

新創刊

奮えるほごにキチクミ切りアンソロジー
エロスな読み切り

どつちがいいの？
気持ちいいの？
前からと後ろから
イケナイね、欲張りな子だ

新田祐克
藤崎こう
藤井あや
西野花
(画・佳門サエコ)

b-BOY

キチクミ

複数ピン

特集

環レン
一城れもん
千歳びよこ
七瀬かい
安曇もか
真枝真弓
陸奥

C O N T E N T S

複数プレイ特集

藤崎こう	絶頂トライアングル	1
環レン	危険なWフライト	29
藤井あや	バージョンあっぷ。	37
西野花(画・佳門サエコ)	ソムサン~商品開発室の獣たち~	53
新田祐克	カントリー・ジェントルメン	71
一城れもん	この恋どうなる?	107
千歳ぴよこ	これは本当の愛	139
安曇もか	小夜啼鳥に花飾り~アラビアンナイト~	171
七瀬かい	うしろの暴君	195
真枝真弓	3人寄ればなんとやら	211
陸奥	コピー&ペッティング	241
次号予告		251
ライターズコメント		253
表紙	新田祐克	

装丁 橋本清香 (NARTI:S)
レイアウト CoCo.Design 柴崎結佳 鈴木哲也
NARTI:S

本作品は紙版刊行物を電子書籍化したもの(デジタル版)であり、掲載されている情報は紙版出版時点のものです。
なおデジタル版は一部紙版と異なる仕様がございます。

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。

本書の一部、あるいは全部を無断で複製複写(コピー、スキャン、デジタル化等)、転載、上演、放送することは法律で特に規定されている場合を除き、著作権者・出版社の権利の侵害となるため、禁止します。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内で利用する場合であっても一切認められておりません。

b-BOY
キチク
K I C H I K U



3人で
肉体関係を持って
だいぶ経つけど



アイツらがこの先を
どう考えてるなんて
聞いたことはなかった



まあいずれどちらかが
動くとは
思っていたけどな

また呼び出し
やがって



オレだけ2オ上だけど
幼稚園の頃から
ずっと一緒に

社会人になった
今でも変わらない

さすがにだるいなあ…

今週は…仕方ねえか



週末3人で
会ったばかりだろ

いつもなら
数日空けて
会うけど

今日はちょっと
話したいことがあってさ



.....



3人でも金つけで
個別はこいつらの
希望だ

間が空かない時は
ハードなこと
出来ないぞ

昨日は
スゴかったからな

はじやなく
もだろ

お前らいつも
ガツつきやがって





ガキの頃と
もう違うぜ

俺がどんなにイイか
身体でたっぷり
わからせてやるよ

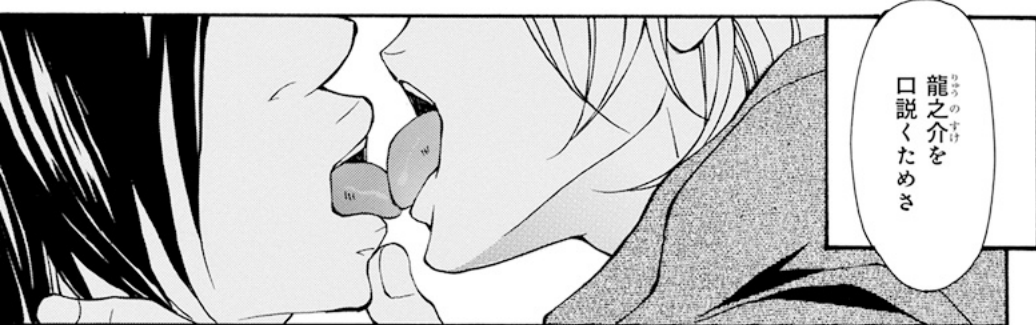
やたら甘いセリフを
よく吐くようには
なったな…



当然

俺にしろって話

おねだりの
間違いだろ



龍之介^{りゅうのすけ}を
口説くためさ



……そうなのよ

片方もだな

……これ



ついにはつきりとした
答えを求めてきたが

いつも
流してきたが…

b-BOY
キ子夕
K I S H I K U

危険な ダブル Wフライト

シークレットフライト
— 番外編 —

環レン

Wren Tamaquis

環レンの最新刊コミックス
9月10日発売予定!

ビーボーイコミックス「二人のマハラジャ」
白い王と黒い王、二人の王に愛される
日本人青年の官能ラブ!!

今回登場したパイロット×客室乗務員の
♡ラブストーリーはこちら♡

ビーボーイコミックス「シークレットフライト」
「シークレットフライト～ビジネスクラス～」

な…なんで!?
どうしてこんな事に…!?

二人いる
なんで?

司叶機長が

可愛いよ
柚琉





b-BOY
キキク
K I C H I K U

来週から
海外留学!?

双子兄
北川愛染

双子弟
北川不動

ウン…

今まで
黙ってて
ごめんね…

↑の幼馴染
山田みのる



一年!?
どうしてこんな
ギリギリまで
黙ってたんだ?



ど…どの位の
期間…

行き先は?

う…うん…
アメリカに
1年



お願い?
何だよ水臭い…

何でも
言えよ



ごめん…

出発前にふたりに
お願いがあつて

ちょっと
言いだし
にくくて…

俺達三人は
家が隣同士の
幼馴染だ

やんちゃな愛染と
おとなしい不動

俺達はふたりで
三歳年下の
みのるをずっと
可愛がってきた

みのるももう
それなりに成長
したけど……

アメリカかって……
お前そんな容姿で
大丈夫なのかよ……



うん……
だから……

僕
変わり
たいんだ

え

アイちゃん
フドーちゃん
お願い
エッチ
しよう！



b-BOY
キチク
K I C H I K U

間接照明の灯りに、白い裸体が照らし出される。うっすらと汗を敷いた身体が男の上でうねる様は、まるで蛇のようだった。

「はあ……あう……」

「環くん……」

男の上でゆっくりと腰を上下すると、ぬちゅ、と卑猥な音が辺りに響く。男を深くくわえ込んでいる内壁が、その刺激がたまらなくて収縮した。

「……っ、高崎課長……っ、ああ……っ」

堪えかねて首を打ち振る度に、細い髪がばさばさと揺れる。

この体位は感じすぎると動けなくなるので、実は環は少し苦手だった。だが、男が言うなら応えてやらなくてはならない。

「……っ、すこいな。すぐに持っていかれそう。さすが『ソムサン』の統括は凄腕だ」

下から環を突き上げるようにして尻を掴んでいる男は、四十代半ばの、エネルギーシユな男だ。

「……そんな、私の方こそ、もう、いきそうです……。課長の、あ、あ、いい……っ」

演技ではなかった。環は実際にこの男のものに貫かれて感じ、女のように後孔を快楽でひくひくと痙攣させている。

ベッドに入った時から高崎は環に濃厚な愛撫を施し、すでに二度ほど極めさせられていた。本来は余裕などないのだ。

「それにしても、感じやすい身体だな……」

男の手が敏感になっている肌を這う。下腹から撫で回していたそれが脇腹を撫で上げて乳首へと触れてきた時には、環はもう自分を支えている事すら難しくなっていた。

「そ、そこは、あ……っ」

「ここが弱いのか」

にやにやと笑う高崎を、環は潤んで濡れた瞳で睨む。自分の吐くはあはあという荒い息が湿っていた。

既に尖って硬くなった胸の突起を優しく転がされ、背骨がじゅん、と痺れる。

「あ、あん、あ……」

「おいおい、絞め殺す気かい」

内部にいる男根をきつく締めつけてしまつて、高崎がやや声を詰まらせながら笑つた。

乳首を弄られながら中を擦られるとたまらない。ふたつの快感が体内でひとつに固まり、つま先まで物凄い勢いで駆け巡るような気がする。

「そ、それ、駄目です——、弱い」

「弱い？ じゃあもつとしようか」

高崎の指先が乳首を細かく弾きながら、下からリズムカルに突き上げてきた。腰骨が蕩けるような感覚が環を襲い、思わず両腕を突っ張って背中をめいっばい反らせる。

「あああ……んんっ、あつ、はあつ、んっ、ん……っ」

快楽が身体中を駆け巡っていった。白い双丘が震え、内股が不規則な痙攣を起こす。

「う、ふううっ、あつ、い、イく、もう、い——……っ」

ここまで追い詰められるのは久しぶりだった。この男は、若い頃はきつと相当に遊び人だったに違いない。もしかしたら、今でも遊んでいるのかもしれない。

—— だったら、俺が出張ってくる事はなかったかな。

環は内心で独りごちた。

だが、まあいい。第一開発室課長の高崎は、社の太い動脈を担っていると云つてもいい。実際この男のアイデアや実行力は、会社で決して少なくない利益をもたらしていた。ここは英気を養つてもらい、さらなる尽力を請おう。

環は意識して後孔を締めつけ、奥深くまでくわえ込んでいる男根を内壁でしゃぶつた。

「ああ、くそ、よすぎる」

高崎は悪態をつくように呻いて、環の双丘を乱暴に押し掴む。

「んん、あつ、ふああつ」

予想しなかつた男の動きに、体内を鋭い快感が走る。脳天まで突き抜けそうなそれにくぐりと腰を震わせ、環は必死で達するのを堪えた。

「あ、待つて…、まだ…つ」

「そんなに気持ちよさそうな顔して。イきたいんだらう？」

すっかり感じ入ってしまったている内壁を、太いもので容赦なく擦られる。この男は自分があられもなく達する様を見たいのだからか。自分の快樂よりも、相手が感じる様を見るのが好きだというタイプは時々いる。

「こども、こんなに涎を垂らして」

「ああつ」

開かされた脚の間で勃ち上がり、先端から愛液を零しているものを弄ぶように握られ、環はいよいよ追い詰められた。

「そ、んな…、触られ、た…らつ、ああつ…！」

肉体の芯が痛いほどに疼く。込み上げてくる灼熱の波。これ以上は我慢できない。

前と後ろを一度に責められ、環は耐えていた感覚を解放した。

「あ、ア、あああ、いつ…く…！…！」

男の上で大きく背を反らし、後ろをきつく締めつけて環は絶頂に達した。脚の間のものから白い蜜を迸らせ、全身を駆け巡つていく極みに耐える。それとほどなくして内部で高崎が弾ける感覚があり、媚肉を熱いもので濡らし上げられた。

「あつ、うつ…！、うつ…つ！」

男の中で出されると、いつもつま先まで痺れが走る。中出しされるのが好きだなんて、自分も相当に好きものだな、と思うのだ。

「は、あつ…、はあつ」

息を荒げながら男の上に倒れ込みそうになって、環は自分の中から男根を引き抜こうとする。すると高崎の両手がぐつ、とそれを阻んできて、環は思わず瞠目した。

「まだ抜かないでくれよ」

「まだするんですか…！」

「環くんの中があんまり気持ちよくてね。今動かしている案件のいい打開案が浮かびそうなんだが、もう少しなんだ」

「…調子がいいですよ」

環は紅潮した顔のまま、薄く笑みを敷いた。そのままの体勢で今度は組み敷かれて、甘い呻きが漏れる。

「ん…う」

「こんなチャンスは滅多にないからな」

男の腰が再び動き出すと、繋ぎ目から注ぎ込まれたものがあふれだしてきた。いやらしい音があたりに響き、思わず恥ずかしさに身を竦める。

「…いいですよ。それで気分転換ができるのなら」





!!

カッ
イ

これは…
期待通りだと
思ってもいいのか？

…あの…
お願いが…

ウチの愛内あいうちが
どうしても
永慈えいじさん所の
ハーブハーブが使いたいと

……まさか
あの男に
言われて 今日
俺を誘ったのか…

でもっ
そうすれば僕達が
関係を持つ事を
愛内も容認すると思
うんですっ

人をバカに
するのも
いい加減に
してくれ!!

俺の所に
恋敵のあの男を
連れて来ただけでも
どうかしてると
思ってたのに

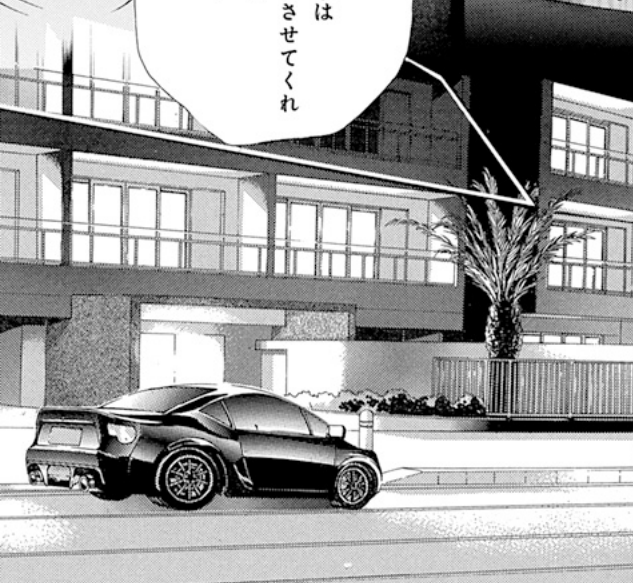
今度は
その男の出した
条件をのめば
付き合う!!

何で施しを
受ける様に
君を奴と
共有しなきゃ
いけないんだ!!



そんな奴の言いなりに
なる君にもだ!!

今週の約束は
キャンセルさせてくれ
…少し頭を
冷やしたい



今までも大概
愛内を下衆だと
思ってたが
ここまでとは
思わなかった…!

愛人と言えど
身体を重ねてる相手に
色仕掛けを要求する
愛のなさには
寒気がする!!

b-BOY
キ子夕
K I S H I K U

事は数時間前

何を言ってるんです
翔兄さん

俺はこの
V.M.コーポレーションの
新入社員

ああ!!

彼は僕が
先に目を
つけたんです

何ねばけたこと
いってやがる

あいつは最初から
俺のなんだよ

あの…

また!

そうやっていつも
全部自分の
モノみたいにい!

たりめーだろ!
この会社もあいつも
全て俺のなんだよ

違いますよね？

なあ？

ななみ
七海君
♡

え…

ええっ

社長(兄)と上司(弟)に
気に入られて
しまったみたいですよ



今日こそ
俺と理人
どっちにするか
選んでもらうぜ？

決まってるんだろ

へ!?

あの俺が社長室に
呼びだされたのって
一体…



もちろん♡

僕の方が
好みですよね？

こんな粗野な
社長より



何言ってるんですか

いっ

b-BOY
キキク
K I C H I K U

江角君と結ばれる時に
使おうと思っていた
部屋です

は？

どちらが江角君と
体の相性がいいのか

ここで
ためしてみましよう

？

？

？

えっ？！

え…あの…
それって

もちろんSEXですよ
つきあえばいずれ
する事でしょう

ポっポクは
そんな事はっ…
ねえ内藤君っ…



…そうだな
試してみようじゃねーか

ちよつちよつとまってよ！
ボクはそんな事
しないって！



とりあえず
やってみないと
わかんないだろ

さ
始めましょう



こ…これは…

まずいっ

涼っ！！



こらこら
逃げるなって

はっ
はなしてよっ!!

大丈夫ですよ
気持ちよくさせて
あげますから



あっコラ!!
ずるいぞてめー

ハッ

2人とも
こんなにボクを
思ってくれてるんなら

さよっくわんご...

許しても...
いいかも...

これで...
いいのかな？



b-BOY
キチク
K I C H I K U

安曇もか

やあ
ファビアン・ド・ボードビール

私を覚えてはいないのか？

君とは近いうちに
また会えるだろうな
…きつとすぐにね



君蘭は元気かな？



えっ





君蘭が攫われました…!!



以前から君蘭を買いたいと申していたアラブ人の…

攫われた…!?



私と君蘭を知っている。

サレイン… 不思議な男だ

あの店の主人なら
何か知っているだろうか…

君蘭を迎えに行つて
聞いてみるか



どうしたことだ!
これは…

ファビアン様
申し訳ございません!!



お待ちして
おりました
ファビアン様

どうぞこちらへ



サラデインか…?

やはりご存知で…

「君とは近いうちに
また会えるだろうな」

君蘭の新しい主には
自ら取り戻しに
参れと…

「…きつとすぐにね」

あれは…
挑発の意味だったのか…?

ガラガラ



思ったよりも
早かったな…

この部屋に焚いてある香…
この香いは…



君蘭を返せ!



こちらが横取り
されたような
気分だったのだがね
まあいい…

取引をしよう
じゃないか

君があの店主に払った倍額……
いや、言い値でもいい
払おう

もちろんあの店主にもね

冗談じゃない
……愛しているんだ

金など積まれても
手放せるか……

愛？
この子を抱く為に
引き取ったんだろう？

あの店から攫い出して
結局金を払って
買い取ったそうじゃないか

こんなにアトを
つけておいて……
所有物の刻印か？

通勤通学で賑わう
朝の電車で出会った
その「は



頬を染める
その横顔があんまり
可愛かったから



つい追いかけて
いたんだ

あ君っ



君の後ろに
顔色の悪い人が
見えるんだけど



ちよつとだけっ
いいかな
どうしても
気になって

俺?
:



俺は
二神新

只の
サラリーマン

どども...



余計な
お世話だった?
もしかして
困ってるかなって
思ってたさ

貴方は
:

b-BOY
キキク
K I C H I K U

3人寄ればなんとやら

ねえねえアキラ
ごはん 何にする？

ごく普通の
大学生ライフを
満喫していた俺に

食堂？
でも天気いい
からさあ

なんかでも
昼すぎから
雨ふるとか

やだなー
じゃもう
昼の授業さぼろ
うかー

最近
嵐がやってきた

新しい店がさー
できたんだよ



真枝真弓

うるさい
俺は図書館
に行く！

えー
なんでー

この迷惑な

ごはん
行こうよー

残念
でしたー

3つ手に
まわり
つかれている。

今日は図書館
改装で休みだって

好き♡好き♡好き♡

厄介な三つ子に恋されちゃって

にん よ
3人寄れば
なんとやら

まえだまゆみ
真枝真弓!?

見た目も性格も
何から何まで
そっくりで
学校で有名な
美形3つ子



三
みつ

晴海
はるみ
はじめ



通称
晴海
はるみ
一ひ
二ふ
三み

二
じん



なんだ
そうなる

ガッ



ついてくるな
迷惑だつて
言つてんだろ

いふさ



理不尽な不幸の
はじまりは
2週間前…

あー遅刻
する

わっ

うわ…
すみませ

って…



同じ顔が
3つ!?

え

ガッ
ミッ



b-BOY
キチク
K I C H I K U

いつもの様に
ケンジとホテルに
寄って…

夕陽ゆづり今夜は
ここに泊まるぞ

ご休憩…¥3,500-
ご宿…¥6,000-
スタイル…
(AIG) ¥1,000-

うん

いつもの様に
部屋を選んで

適当に
空いてるとこ
選んどくからな

うん
!!!

いつもの様に…

〜〜それでは
コピーされる方は
光のドラッグゾーンに
入ってください

ケンジ…
なにしてるの？

このホテル
一体…

間もなく
コピーします

え？

お前を抱くには
身体一つじゃ
足りねえんだよ

てかお前
ちよつと俺から
離れてろ
コピーされて

コピーします

!?

これで
よろしいですか？

b-BOY
キキク
K I C H I K U